

学校通信



枝川幼稚園

◆平成31年度より枝川幼稚園・枝川保育園は『幼保連携型認定こども園えだがわ』になります

認定こども園へ移行するにあたり、今年度より日常の活動や様々な行事を幼稚園児と保育園児が一緒に行い、友達関係や環境に馴染むように取り組みを工夫しています。

運動会に向けて、かけっこやダンス・競技・

バールン遊びなど一緒に取り組むことで、友達の名前を覚えたり競い合ったり、協力し合ったり、互いに良い刺激となつて楽しんでいきます。このように日々の生活の中で自然に友達関係が広がり仲間意識が育つています。砂場では、



大きな山やトンネル・川や温泉など友達と共通の目的に向けて自分の思いを出し合いながら、考えたり工夫したり協力したりして遊んでいます。

◆素敵な音楽を聴きました

高知東高校の吹奏楽部の生徒さんが演奏に来てくださいました。木管楽器・金管楽器・ドラムなど楽器の音色やリズム、お姉さんたちの素敵な歌声に子どもたちは釘づけになりました。『365日の紙飛行機』や『風になる』、そして、『ひまわりの約束』や『さんぽ』など子どもたちが口ずさみたくなるような計7曲を披露して

くださいました。0歳から5歳まで全園児の参加でしたが、0歳児も演奏に反応し保育者と目を合わせながらニコニコと手をたたいたり、体を揺らせてリズムに乗ったりして楽しみました。乳児・幼児期に生の音楽に触れることで



伊野小学校

子どもたちの興味も広がり、感性を豊かに育むよい経験となりました。

伊野小学校

は、子ども一人一人が「自分らしさが発揮できる学級づくり」に取り組んでいます。いの町教育特使菊池省三先生の指導



のもと、どの学級も「成長ノート」・「価値語の植林」・「ほめ言葉のシャワー」に取り組む、特に「ほめ言葉のシャワー」では、友達のがんばりを認め合うことで学級全体があたたかい雰囲気になります。子ども同士につながりも深まっています。

今年度は「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」を育てるために、「少人数による話し合いのある授業」づくりにも取り組んでいます。「学び合うための動きのある対話・話し合い」や「挙手・指名・発表のみからの脱却を目指した授業づくり」として、「学級ダイベート」も行っています。

6年生の成長ノートには、次のように書かれています。「話し合い

の授業は、発言力などを成長させてくれる授業だと思いました。」この話し合いは、よく頭を使っているなと思えました。」

「話し合いの授業で大切だと思ったことが二つあります。一つ目は、先を見ることがです。二つ目は、チームワークです。両方のチームがスムーズに話し合いができていたのでよかったです。」

自分の意見をしっかりともち、どんな意見も受け入れてくれる安心感のある学級、関わり合う中で仲間によさに気付くことができる学級づくりを今後も地道に行っていきたいと考えています。



伊野中学校

◆伝統の「あそび運動」

伊野中学校では毎月第2・4週の金曜日にあいさつ運動を実施しています。主催する生徒会は伊野中学校の代表として暑い日も雨の日も寒い日も頑張つて運営してくれています。全校生徒が自分から「おはようござ